



## 分娩介助時の注意点

**畜産**  
園田 遼海  
下島宮農指導センター  
080-1795-9380

まだ暑い日が続きますが、この時期は受胎率が低下傾向になり、牛の体力も消耗してしまいます。分娩時の事故にもつながりますので、1頭1頭の分娩を確実にこなしていきましょう。分娩介助の時には、滑車を使うと効率良く引くことができますが、注意点もあります。正常か逆子かなどの胎位確認が終わったら、次のことに注意しましょう。

### 1. 滑車のロープが絡まっていないか (kg/10aあたり)

・いざという時に、ロープが絡まっていたらすぐに使用することが出来ません。分娩は時間との勝負ですので、パニックにならないよう、普段から整理整頓、チェックを行いましょう。

### 2. 産道に乗った胎子の周りがある程度のスペースがあるか

・分娩時に胎子が引っ掛かるところは主に頭部、胸部、腰部です。特に胸部で引っ掛かると、自発呼吸ができない子牛は死んでしまいます。牽引の前に胎子の周囲をなでるように触って確認しましょう。触って楽に一周できるほどのスペースがあれば、問題なく牽引できる場合が多いです。半周ほどしか触れない、あるいは一周できるが手が骨盤に圧迫されて痛いような場合は、産道が広がるのを待つか、帝王切開なども検討します。

### 3. 頭から出てきている時は鼻先まで、後肢からの場合は外陰部から飛節が出ない程度まで引いて、牽引可能か判断する

・この位置ではまだ、臍帯が切れていませんので、いったんここまで牽引して、最終判断を下しましょう。判断のポイントとして、頭から出てきている場合、胎仔の後頭部にまで問題なく手が回れば、経膈分娩が可能と言えます。

### 4. 陣痛に合わせた牽引を心がける

・すべての確認が済んだら、少しずつ牽引していきましょう。この時、母牛の陣痛に合わせて牽引することが大切です。介助者のタイミングだけで引いてしまうと、産道裂創や子宮脱の危険性があります。また、産後の疼痛が強いと、子牛のリッキングを行わない、子牛に攻撃を加えるなどのリスクもあります。母牛が力んだら引く、母牛が休んだら休む、ということを中心に心がけて牽引を行ってください。

### 5. 今後の対策

分娩介助の判断は難しいですが、まずは落ち着いて対処することが大切です。子牛の大型化が進んでいる現在、滑車は必須ともいえます。生産者の方の創意工夫や、畜産資材などを用いることでもより簡易に介助することが可能です。より良い経営を行うため、適切な飼養管理に努めましょう。



## 茎ブロッコリー栽培耕種基準

**野菜**  
宮内 勝幸  
上島宮農指導センター  
080-2751-6373

月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地		○	○			△																
		播種				定植																

### 1. 品種 : スティックセニョール

### 2. 播種・育苗

プラグトレイ200穴又は、ペーパーポットV4をそれぞれ23冊、28冊準備する。一粒ずつ播種し、種子が隠れるくらいに覆土する。乾燥防止の為、新聞紙で覆う。発芽を確認したら、新聞紙をはぎ、(20~25℃で2日程)徒長を防ぐ。プラグトレイの場合、根鉢をつくるために地上から浮かせる。(10cm程度でもOK)

### 3. 本圃準備

出来るだけ早めに石灰窒素(80kg/10a)を施用し、耕耘する。(注)石灰窒素は作物に直接接触すると障害が起きる場合があるので、最低でも定植の2~3週間前までに行う、分解を促進するため水分を十分保つ。元肥は、土壌水分が適当な時に全面散布し、畦立てマルチを行う。※石灰窒素を使用しない場合は、CDUs 555、苦土石灰を増量する。

### 4. 定植

畦幅135cm、株間35~40cm、条間45cm(3500~4000株/10a)の浅植えとし、定植後液肥(500倍)で灌水を行い、活着を促す。

### 5. 収穫

頂蕾が500円玉だいになった頃、腋芽を残して摘芯する。第1回目以降は、外葉を落とし腋芽を伸ばし収穫する。

### 6. 追肥

第1回収穫後、窒素成分で10a当り2kg程度を穴肥で施す。以降、2週間おきにN成分で2kg程度を追肥する。

### 7. その他

- ・樹、莢が凍るため霜には注意してください。
- ・病害虫はうどんこ病、灰色カビ病、ヨトウムシ、タバコガ、ハモグリバエに注意しましょう。
- ・目標草勢 花はダブルで大きいもの。茎は鉛筆より太く、葉は肉厚、丸葉で3対葉



# 9月・10月の柑橘園管理

**果樹**

原口 悠貴  
下島営農指導センター  
080-2725-7775

## 1. 病害虫防除

品種	防除時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍数	使用回数	収穫前使用可能日数
極早生	収穫前	貯蔵病害	ベフラン液剤 混用	2,000倍	3回以内	前日まで
			ベンレート水和剤	4,000倍	4回以内	前日まで
温州	極早生	黒点病	ナティーボフロアブル	1,500倍	3回以内	前日まで
	9月中旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	400倍	4回以内	30日前まで
	10月上旬	浮皮防止対策	シリカブロー	1,000倍	—	—
中晩柑	9月中旬	黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	4回以内	90日前まで
	10月中旬	黒点病	ナティーボフロアブル	1,500倍	3回以内	前日まで
	発生初期	褐色腐敗病	ジャストフィットフロアブル	5,000倍	3回以内	前日まで
共通	7月中旬 ～ 9月中旬	ミカンハダニ サビダニ	パロックフロアブル	2,000倍	2回以内	温州：前日まで その他：14日前まで
		ミカンハダニ	ダニオーテフロアブル	3,000倍	1回	前日まで
		ミカンハダニ ホコリダニ	スターマイトフロアブル	2,000倍	1回	7日前まで
	発生時	カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	3回	前日まで
			テルスターフロアブル	5,000倍	3回	前日まで

## 2. 施肥

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a 当たり
清見・甘夏・ 河内晩柑・パール柑 デコポン	果樹専用スペシャル	9月上旬	4袋
極早生	ニュー熊本果樹3号	9月上旬	7袋

## 3. 河内晩柑落果対策(10月)

※今年産から2回使用可能になりました。

- 1回目：マデックEW 2,000倍 (1～2分着色時)
- 2回目：マデックEW 2,000倍 (1回目から20日後)

## 4. 葉面散布

目的	薬剤名	希釈倍数	備考
果皮強化対策	ジューシーカル 又は バイカルティ	1,000倍	温州・ デコポン等

# J A 営農指導実践熊本県大会 小林優介さんが発表

8月1日、JA熊本教育センターでJA営農指導実践熊本県大会が開かれました。営農指導技術の向上と普及拡大を進めることを目的とした本大会では熊本県下の営農指導員11名が発表。JAあまくさからは下島営農指導センターの小林優介指導員が「儲かる農業の実現と産地維持強化に向けた取り組み」と題して発表しました。

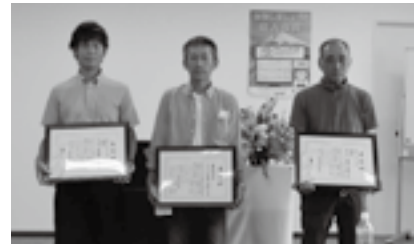


# 第31回JAあまくさ果樹部会 通常代議員総会

JAあまくさ果樹部会は7月13日、天草市の農業共済組合天草支所で第31回通常代議員総会を開き、県やJA関係者約43人が集まり、2022年度事業経過報告並びに23年度収支予算承認など3議案が承認されました。

23年度は消費者嗜好に沿ったあまくさブランドの商品確保による所得向上に取り組むことを決めました。

また、令和4年度JAあまくさ果樹部会立木品評会の入賞者と、販売高優績者表彰が行われました。



JAあまくさ果樹部会立木品評会受賞者



販売高優績受賞者